



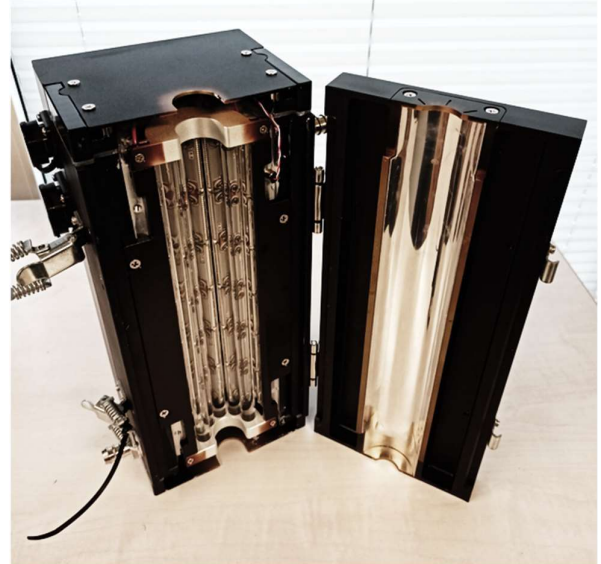
UV-LED光源を備えたBIMESPRO UVLコーティング硬化システム

紹介&アプリケーション

UVL UV-LEDコーティング硬化システムユニットは、大手光ファイバメーカーによって、ファイバ線引きプロセス中に光ファイバの一次および二次アクリレートコーティング層を硬化させるために開発され、さまざまなファイバタイプとさまざまなプロセス条件の線引きにおいて、厳しい光ファイバ製造環境でテストされました。

UVLユニットは、光ファイバ製造で長年使用されている水銀UVランプに代わるものです。

標準的なUV水銀ランプに対するUVLの利点は、低消費電力、軽量、水銀ランプよりもLEDの寿命がはるかに長いこと、動作中のノイズが少ないこと、インフラストラクチャがシンプルであること(大きな冷却空気の流れを必要としない)です。運用コストを最適化し、設備投資を削減します。UVL UV-LEDシステムは、研究開発施設、コーターと他の線引きタワーコンポーネント間の距離が短い特殊なファイバ線引きタワーでの使用に最適です。



内容

アクリレートコーティング層を硬化させる為のUVLタイプU2000 UV LEDシステムは以下で構成されています。

- 電源制御キャビネット；ケーブルセットを介してUVLオープンに接続されます、
- UV LEDオープン(光源)；水冷式で分割可能な照明室を備え、LEDは分割された湾曲ミラー面の片側に取り付けられ、2つのミラー面が疑似円形のチャンバーを提供します。
- 傾斜補正付きの調整可能なX-Yテーブルを備えた取付ブラケット、
- UVLミラーチャンバー内を硬化反応の蒸気から保護する為の石英管が、ユニット全長を貫通しており、上部と下部にアイリスアセンブリが付いています
- N2ガスを供給してシリカ管をパージし、硬化中に光ファイバに不活性雰囲気を提供するためのガスパネル
- 使用及びメンテナンスに関するドキュメントと説明書



UVLタイプU2000の競合製品に対する優位性は、その信頼性、線引きプロセスへの適応性、ファイバ線引きにおけるUV機器の使用とメンテナンスに関する長年の経験にあります。UVLはBimes提供のOptiFACTのような線引きタワー制御システムからEtherCATインターフェースを使用して制御されます。電源キャビネットの前面パネルから手動で制御することも可能です。

仕様

- 保護チューブ： 融合シリカチューブ、外径20mm、肉厚2mm、長さ300mm
- 上/下アイリス： マウントOリング接続によるシリカチューブ上
- N2パージフロー： 毎分6-8リットル、窒素UHP、最大O2 1000 ppm、0.5-2 barg
- ガス接続： Festo push-pun 6 mm
- 設定： ロータメータ、手動調整
- 冷却水： 1-2 slm、室温で

詳細お問合せ先：【技術広報担当】 合同会社ヒロ・デザイン・ファクトリー

tel:070-3837-9360 Web:<https://www.hiro-df.com> e-mail:info@hiro-df.com

【総代理店】 株式会社プロフィット

tel:048-826-7770 Web; <http://www.profitet.com> e-mail:sales@profitet.com